

# 許せない！住民より米軍優先

2016年11月21日  
決算行政監視委員会

## 大平議員が質問

### ステルス戦闘機F35Bの岩国配備



### 重大事故の原因究明ないまま強行

#### 稲田防衛相 明確な答弁さけて否定せず

から情報が得られれば自治体に知らせ、配備計画に理解を求める」などと答弁し、配備強行を否定しませんでした。

米軍岩国基地には、ステルス戦闘機F35Bが、FA18ホーネットやAV8Bハリアーに代わって今年1月から合わせて16機配備される予定です。

大平議員がまず問題にしたのがF35Bの安全性。同機は16年10月27日(現地時間)、米国で飛行中に出火事故を起こしています。大平議員は「少なくとも原因の究明と再発防止策がとられるまで、配備を強行しないか」と迫り、稲田防衛相は「情報の提供と原因究明等を申し入れている。米側



また質問で、米国による岩国基地の環境レビューがこれまで一度も行われていないことが明らかに

2016年11月17日  
11月24日  
憲法審査会

### 「憲法改正」を語る資格ない

#### 「安保法制」戦争法の強行で立憲主義を踏み越えた安倍政権

昨年臨時国会では、憲法審査会が約一年半ぶりに再開されました。大平喜信衆議院議員は2回・すべての審査会で発言し、「(安保法制・集団的自衛権容認で)安倍政権が憲法を踏み越え続けているというのなら、次は憲法そのものを変えたいというのは言語同断であり、国民はこれを許さない」と改憲に固執する安倍政権を厳しく批判しました。立憲主義がテーマになった24

なりましたが、稲田氏は「実施を求める考えはない」と開き直りました。

日の発言では、安倍首相が「憲法が国会権力を縛るという考え方は王権時代の考え方だ」と述べていることについて、「立憲主義の最も基本的な問題を曖昧にしようとする意図を感じざるを得ない」と批判。「これまで歴代内閣によって集団的自衛権の行使は認められないとした憲法解釈を一内閣の閣議決定で変更する。これこそ立憲主義に反する」と強調しました。

願い実現へ  
(論戦ハイライト)

2016年11月16日  
文部科学委員会

### 繰り返させるないじめ自死事件

幾度となく繰り返される子どもたちの「いじめ自死事件」を取り上げ、学校現場の間違った認識による対応や教育委員会などの隠ぺい体質を批判しました。

2016年11月25日  
文部科学委員会

### 教職員の定数削減やめ改善を

財務省が教職員定数を機械的に削減する方針を掲げていることを批判し、「通級指導」教員の基礎定数化など、増員・改善を求めました。

## 2017年 新春から全力でダッシュ!!



元日から街頭で党躍進を訴える  
大平衆議院議員は2017年元日から始動。広島市、福山市で街頭宣伝し、「市民と野党の共闘と日本共産党の躍進で、安倍政権の暴走ストップを」と訴えたのを皮切りに、13日までに中国5県を駆け巡りました。

衆院比例(中国)2次予定候補に垣内京美さん—議席増をめざす



日本共産党は昨年末、衆院比例予定候補(2次)を発表。中国ブロックは、党准中央委員・岡山地区委員長の垣内京美さん(50) 写真右が大平議員と議席増をめざします。

きたる総選挙

市民+野党の共闘ひろげ

日本共産党の躍進で国民が主人公の政治を